

マネジメント時代のコンサル像

創業50周年を迎え、企業針路は



藤山 義修氏に聞く

フジヤマ代表取締役社長

4月1日付で創業50周年を迎えた総合建設コンサルタント「フジヤマ」。浜松市で創業以来、一般土木や下水道分野で調査・設計・測量の広範にわたる業務を拡大し、企業像を磨き上げてきた。今回、藤山社長に今後の企業針路を聞いた。

◆創業50周年を迎え
当社は昭和42年に測量業を創業、46年に「藤山測量設計事務所」へ社名変更するとともに株式会社化、61年に現在のフジヤマに社名変更し現在に至ります。現在では、部門別の事業を中心にフジヤマ代表取締役社長

◆調査50周年を迎え
内最大手の建設総合コンサルタントとして、社員数約2800人、年間売上高約50億円規模に成長しました。業務内容は測量・調査部門、コンサルタント部門、地理情報部に分れます。現在では、部門別の事業を中心にフジヤマ代表取締役社長

◆調査50周年を迎え
内最大手の建設総合コンサルタントとして、社員数約2800人、年間売上高約50億円規模に成長しました。業務内容は測量・調査部門、コンサルタント部門、地理情報部に分れます。現在では、部門別の事業を中心にフジヤマ代表取締役社長

◆調査50周年を迎え
内最大手の建設総合コンサルタントとして、社員数約2800人、年間売上高約50億円規模に成長しました。業務内容は測量・調査部門、コンサルタント部門、地理情報部に分れます。現在では、部門別の事業を中心にフジヤマ代表取締役社長

◆調査50周年を迎え
内最大手の建設総合コンサルタントとして、社員数約2800人、年間売上高約50億円規模に成長しました。業務内容は測量・調査部門、コンサルタント部門、地理情報部に分れます。現在では、部門別の事業を中心にフジヤマ代表取締役社長

◆調査50周年を迎え
内最大手の建設総合コンサルタントとして、社員数約2800人、年間売上高約50億円規模に成長しました。業務内容は測量・調査部門、コンサルタント部門、地理情報部に分れます。現在では、部門別の事業を中心にフジヤマ代表取締役社長

◆調査50周年を迎え
内最大手の建設総合コンサルタントとして、社員数約2800人、年間売上高約50億円規模に成長しました。業務内容は測量・調査部門、コンサルタント部門、地理情報部に分れます。現在では、部門別の事業を中心にフジヤマ代表取締役社長

◆調査50周年を迎え
内最大手の建設総合コンサルタントとして、社員数約2800人、年間売上高約50億円規模に成長しました。業務内容は測量・調査部門、コンサルタント部門、地理情報部に分れます。現在では、部門別の事業を中心にフジヤマ代表取締役社長

◆調査50周年を迎え
内最大手の建設総合コンサルタントとして、社員数約2800人、年間売上高約50億円規模に成長しました。業務内容は測量・調査部門、コンサルタント部門、地理情報部に分れます。現在では、部門別の事業を中心にフジヤマ代表取締役社長

◆調査50周年を迎え
内最大手の建設総合コンサルタントとして、社員数約2800人、年間売上高約50億円規模に成長しました。業務内容は測量・調査部門、コンサルタント部門、地理情報部に分れます。現在では、部門別の事業を中心にフジヤマ代表取締役社長

◆調査50周年を迎え
内最大手の建設総合コンサルタントとして、社員数約2800人、年間売上高約50億円規模に成長しました。業務内容は測量・調査部門、コンサルタント部門、地理情報部に分れます。現在では、部門別の事業を中心にフジヤマ代表取締役社長

◆調査50周年を迎え
内最大手の建設総合コンサルタントとして、社員数約2800人、年間売上高約50億円規模に成長しました。業務内容は測量・調査部門、コンサルタント部門、地理情報部に分れます。現在では、部門別の事業を中心にフジヤマ代表取締役社長

◆調査50周年を迎え
内最大手の建設総合コンサルタントとして、社員数約2800人、年間売上高約50億円規模に成長しました。業務内容は測量・調査部門、コンサルタント部門、地理情報部に分れます。現在では、部門別の事業を中心にフジヤマ代表取締役社長

◆調査50周年を迎え
内最大手の建設総合コンサルタントとして、社員数約2800人、年間売上高約50億円規模に成長しました。業務内容は測量・調査部門、コンサルタント部門、地理情報部に分れます。現在では、部門別の事業を中心にフジヤマ代表取締役社長

◆調査50周年を迎え
内最大手の建設総合コンサルタントとして、社員数約2800人、年間売上高約50億円規模に成長しました。業務内容は測量・調査部門、コンサルタント部門、地理情報部に分れます。現在では、部門別の事業を中心にフジヤマ代表取締役社長

◆調査50周年を迎え
内最大手の建設総合コンサルタントとして、社員数約2800人、年間売上高約50億円規模に成長しました。業務内容は測量・調査部門、コンサルタント部門、地理情報部に分れます。現在では、部門別の事業を中心にフジヤマ代表取締役社長

◆調査50周年を迎え
内最大手の建設総合コンサルタントとして、社員数約2800人、年間売上高約50億円規模に成長しました。業務内容は測量・調査部門、コンサルタント部門、地理情報部に分れます。現在では、部門別の事業を中心にフジヤマ代表取締役社長

◆調査50周年を迎え
内最大手の建設総合コンサルタントとして、社員数約2800人、年間売上高約50億円規模に成長しました。業務内容は測量・調査部門、コンサルタント部門、地理情報部に分れます。現在では、部門別の事業を中心にフジヤマ代表取締役社長

◆調査50周年を迎え
内最大手の建設総合コンサルタントとして、社員数約2800人、年間売上高約50億円規模に成長しました。業務内容は測量・調査部門、コンサルタント部門、地理情報部に分れます。現在では、部門別の事業を中心にフジヤマ代表取締役社長

したい。新中計はその第一歩になる」と述べ、量的成長(売上増)と質的成長(利益率向上)により、新中元への成長に向けた各種施策を実施する考えを表明。また「新中計の最終年度は消費税増税、東京五輪特需後の反動不況が待ち受けており、それに備えた確かな体制を構築するべく改革を進める」と抱負を語った。

前中期経営計画では、8期連続増益、4期連続最高益を更新した。新中計では、2019年度の売上高1兆2000億円(住宅5500億円、環

等に対応する技術。新技術実証事業「B-DASHプロジェクト」がコア技術。処理水量が増加した時に生じる終沈液排水のSS(浮遊物質量)濃度上昇を、ろ過部で捕捉することで抑制する。また計画処理水量で運転した場合、終沈液排水の水質向上を図る。

災害支援協定締結の加速へ
国土交通省の下水道事業等に対する技術。新技術実証事業「B-DASHプロジェクト」がコア技術。処理水量が増加した時に生じる終沈液排水のSS(浮遊物質量)濃度上昇を、ろ過部で捕捉することで抑制する。また計画処理水量で運転した場合、終沈液排水の水質向上を図る。

調査・診断・設計一貫体制で
野へのICT・IoT技術の導入促進を図っている。その流れは下水道の収集した情報を活用し、その時流を感知し、そのデータを基に、他者に無い知恵や提案が企業をより大きく、より前進させてくれる。

調査・診断・設計一貫体制で
野へのICT・IoT技術の導入促進を図っている。その流れは下水道の収集した情報を活用し、その時流を感知し、そのデータを基に、他者に無い知恵や提案が企業をより大きく、より前進させてくれる。

調査・診断・設計一貫体制で
野へのICT・IoT技術の導入促進を図っている。その流れは下水道の収集した情報を活用し、その時流を感知し、そのデータを基に、他者に無い知恵や提案が企業をより大きく、より前進させてくれる。

調査・診断・設計一貫体制で
野へのICT・IoT技術の導入促進を図っている。その流れは下水道の収集した情報を活用し、その時流を感知し、そのデータを基に、他者に無い知恵や提案が企業をより大きく、より前進させてくれる。

調査・診断・設計一貫体制で
野へのICT・IoT技術の導入促進を図っている。その流れは下水道の収集した情報を活用し、その時流を感知し、そのデータを基に、他者に無い知恵や提案が企業をより大きく、より前進させてくれる。

調査・診断・設計一貫体制で
野へのICT・IoT技術の導入促進を図っている。その流れは下水道の収集した情報を活用し、その時流を感知し、そのデータを基に、他者に無い知恵や提案が企業をより大きく、より前進させてくれる。

終沈能力向上技術が採択

B-DASH 建設費大幅減に効果

国土交通省の下水道事業等に対する技術。新技術実証事業「B-DASHプロジェクト」がコア技術。処理水量が増加した時に生じる終沈液排水のSS(浮遊物質量)濃度上昇を、ろ過部で捕捉することで抑制する。また計画処理水量で運転した場合、終沈液排水の水質向上を図る。

災害支援協定締結の加速へ
国土交通省の下水道事業等に対する技術。新技術実証事業「B-DASHプロジェクト」がコア技術。処理水量が増加した時に生じる終沈液排水のSS(浮遊物質量)濃度上昇を、ろ過部で捕捉することで抑制する。また計画処理水量で運転した場合、終沈液排水の水質向上を図る。

調査・診断・設計一貫体制で
野へのICT・IoT技術の導入促進を図っている。その流れは下水道の収集した情報を活用し、その時流を感知し、そのデータを基に、他者に無い知恵や提案が企業をより大きく、より前進させてくれる。

調査・診断・設計一貫体制で
野へのICT・IoT技術の導入促進を図っている。その流れは下水道の収集した情報を活用し、その時流を感知し、そのデータを基に、他者に無い知恵や提案が企業をより大きく、より前進させてくれる。

調査・診断・設計一貫体制で
野へのICT・IoT技術の導入促進を図っている。その流れは下水道の収集した情報を活用し、その時流を感知し、そのデータを基に、他者に無い知恵や提案が企業をより大きく、より前進させてくれる。

調査・診断・設計一貫体制で
野へのICT・IoT技術の導入促進を図っている。その流れは下水道の収集した情報を活用し、その時流を感知し、そのデータを基に、他者に無い知恵や提案が企業をより大きく、より前進させてくれる。



大洲副会長

調査・診断・設計一貫体制で
野へのICT・IoT技術の導入促進を図っている。その流れは下水道の収集した情報を活用し、その時流を感知し、そのデータを基に、他者に無い知恵や提案が企業をより大きく、より前進させてくれる。

調査・診断・設計一貫体制で
野へのICT・IoT技術の導入促進を図っている。その流れは下水道の収集した情報を活用し、その時流を感知し、そのデータを基に、他者に無い知恵や提案が企業をより大きく、より前進させてくれる。

調査・診断・設計一貫体制で
野へのICT・IoT技術の導入促進を図っている。その流れは下水道の収集した情報を活用し、その時流を感知し、そのデータを基に、他者に無い知恵や提案が企業をより大きく、より前進させてくれる。

調査・診断・設計一貫体制で
野へのICT・IoT技術の導入促進を図っている。その流れは下水道の収集した情報を活用し、その時流を感知し、そのデータを基に、他者に無い知恵や提案が企業をより大きく、より前進させてくれる。

調査・診断・設計一貫体制で
野へのICT・IoT技術の導入促進を図っている。その流れは下水道の収集した情報を活用し、その時流を感知し、そのデータを基に、他者に無い知恵や提案が企業をより大きく、より前進させてくれる。

マンホール蓋の取替なら...
TMI工法
計では1000㎡超に達する。劣化対策の二一入が高まる中、数ある更新工法の中で品質、コストで優位性を示さなければ自然淘汰される。協会、会員、メーカーの三位一体で研さんを深めたいと呼びかけた。

新社長に吉居卓也氏が就任
JTBアドバンテックは4月1日付で社長を交代した。吉居卓也氏は、前社長代理取締役として就任したことを明らかにした。